

産地活性化総合対策事業のうち産地収益力向上支援事業（新技術導入広域推進事業）に関する事業評価票

No	事業実施主体名	新技術の内容	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況				具体的な取組内容	地方農政局長等の意見
					基準年 (計画策定時) 平成23年	目標年 令和5年 (実績)	目標値	達成率		
1	大分県	水稲新品種「つや姫」の高品質安定栽培技術の普及	24年度	技術導入による「つや姫」作付面積の拡大	103 ha	712ha ※なつほのかと合算すると2,761ha	1,689 ha	38% ※なつほのかと合算すると168%	<ul style="list-style-type: none"> ・高温障害による品質低下対策として、高温耐性が強い「つや姫」の栽培マニュアルの作成、配布。また、「つや姫」と同様の栽培特性を持つ高温耐性品種である「なつほのか」を新たに転換品種に取り入れ、高温障害による品質低下対策に取組んだ。 ・各地域単位に作期ごとに研修会を開催し、適期管理の指導、作付状況の反省などを行った。 ・県全体で食味コンテストを開催し優良者表彰を行うとともに、栽培管理技術の研鑽、実需との交流を行った。 	<p>栽培実証結果から標高100m以下では品質にばらつきが出ることが判明し、「つや姫」を育成した山形県から品質維持を目的に「特別栽培農産物基準での栽培」条件が付され、作付対象者を制限されたため、作付面積が伸びず当初目標が未達成となり、令和2年度の改善計画において成果目標を見直して推進を図ってきたが、大幅な面積拡大には至らなかった。</p> <p>令和3年度からは「つや姫」と同様の栽培特性を持つ高温耐性品種である「なつほのか」を新たに転換品種に取り入れ、高温障害による品質低下対策に取組んだ結果、令和5年度作付面積は「つや姫」712ha、「なつほのか」2,049haと目標値としていた面積1,689haを上回る作付面積となり、品種転換が図られたことから今年度で評価を終了する。</p>